

有田川町でできる防災習慣

町の防災をもっと身近に



これまで「特別な準備をする防災」だけでなく、毎日の暮らしの中で無理なく続けられる習慣が、いざというときの大きな備えになることをご紹介しました。

こうした防災習慣は、普段の生活に少し意識を加えるだけで、誰でも今日から始めることができます。そして、その習慣をより確かな備えにするためには、有田川町で利用できる防災情報や制度を知り、日頃から活用しておくことが大切です。

有田川町では、防災アプリや防災行政無線、ハザードマップの配布、土のうステーションの設置など、住民の皆さまの安全・安心を支えるさまざまな取り組みを行っています。

しかし、これらは災害が起きてから初めて利用するものではなく、普段から使い方や設置場所を確認しておくことで、いざというとき落ち着いて行動することにつながります。

ここでは、有田川町で今日から実践できる身近な防災習慣について、ご紹介します。

防災アプリを毎日開く習慣を

災害が発生したとき、避難情報や気象情報などをいち早く正しく入手することは、自分や家族の命を守るための大切な行動です。

有田川町では、防災や行政に関するさまざまな情報をスマートフォンで手軽に確認できる「**ありがわ防災・行政ナビ**」を配信しています。

避難情報や防災行政無線の放送内容をはじめ、町からのお知らせなど、暮らしに役立つ情報をいつでも確認することができます。

毎日の天気予報やニュースを見る感覚でアプリを開くことは「備えな

い防災」の実践につながります。日頃

頃から使い慣れておくことで、災害時にも落ち着いて必要な情報を確認し、迅速な避難行動を取ることができます。

ぜひ「ありがわ防災・行政ナビ」を毎日の暮らしの中に取り入れ、もしものときに備えましょう。

避難情報をプッシュ通知で受信

避難指示や避難所の開設情報などを、プッシュ通知でお知らせします。

防災行政無線の放送内容を確認

聞き逃した放送内容を文字で確認できます。

町からのお知らせを受け取る

イベント情報や暮らしに役立つ行政情報をお届けします。

※その他にも有田川町マップや河川水位監視情報など、さまざまな情報配信を行っています。

ハザードマップを

「しまつ」から「見る」へ

配布されたハザードマップを本棚や引き出しにしまい込んでいませんか。

ハザードマップには、避難所や避難場所、防災情報など、災害時に役立つ情報がまとめられています。しかし、災害が起きてから初めて開く

うとしても、必要なページを探すのに時間がかかり、落ち着いて行動できないことがあります。

普段から家族でハザードマップを

ハザードマップ活用習慣

開き「自宅はどこにあるか」「どのような災害が想定されているか」「避難所まではどの道を通るか」を確認しておきましょう。また玄関やリビングなど、すぐに手に取れる目の届く場所に保管しておくことも大切です。

年に1回、防災の日や台風シーズンに見直すだけでも、新たな気付きや家族で話し合うきっかけになります。

□ 自宅がハザードマップのどこにあるか確認した。

□ 自宅周辺で想定される災害（洪水など）を確認した。

□ 最寄りの指定緊急避難場所・指定避難所を確認した。

□ 家族と避難場所や避難するタイミングについて話し合った。

□ 避難場所・避難所まで実際に歩いてみた。

□ ハザードマップを目の届く場所に保管している。

□ 大雨や台風シーズン前にハザードマップを見直している。



有田川町
ハザードマップ